



～子どもも大人も一緒に学校づくり地域づくり～

はたえっこ

糸島市立波多江小学校学校通信

令和7年度 第10号 文責 校長 重富 泰敏

令和7年9月4日

前期後半のスタートです

☆前期後半がスタートしました。まだまだ暑い日が続きますが、子どもたちは元気です。過ごしやすい季節の到来を待ち、保護者の皆様におかれましては長い休みのあとということもありますので、生活リズムを整えていただくことを大切に、家庭での声かけ、一緒に行動等、御理解・御協力をよろしくお願い致します。

☆「早寝・早起き・朝ごはん」で規則正しい生活習慣づくりを大切にしていきたいと思います。

☆前期後半(9月)から、後期前半(12月)が学校での「充実期」になります。

過ごしやすい気候の中で、子どもたちのやる気や協力する姿、粘り強くがんばる姿を輝かせながら、「学力・協力・遂行力」を伸ばしていきます。どうぞよろしくお願い致します。



猛暑の中の草刈り活動→御協力に感謝します!!

感謝・感謝の報告です。

前期後半のスタートにあたり、六十爺会の方々とPTAの有志(OG・OB含む)の方々から、草刈り活動の御協力をいただきました。学校が広く、草や木も多いだけに、なかなか追いつかない中で、六十爺会の方々からは、畑周辺と体育館とプールの間、草捨て場のところの草刈りをしていただき、PTA有志の方々には、校舎横全面と運動場の一部の草刈りをしていただきました。

大変助かりました。本当に暑い中、朝早くから大変な中での草刈り活動いただき、ありがたかったです。子どもたちは夏休み後の運動場や草場での遊びを楽しみにしていました。

また、畑等での学習活動も安全に行うことができます。

本年度は糸島市教育委員会からも、本年度は、全小中学校の草刈り費用が出るようになっており、10月の運動会前にしてもらおうと計画しているところです。

なおもって、地域や家庭からの協力をいただき、学校の環境保全ができることは本当にありがたいと思っています。今後とも、計画的に連携できるよう努めていきたいと考えています。



学校・家庭・地域合同研修会

8月22日(金)波多江校区(地域・学校・PTA)合同の研修会が行われました。



子どもを真ん中においた不登校支援/
地域・家庭・学校で育む「はたえっこ」



講師に福岡市「ぼちぼちの会」会長(元福岡市中学校長)の木村素也さんをお招きして、グループワークを通して、不登校や行き渋り、子どもたちの背景にある生きづらさについて交流しながら保護者・地域・学校の関わり方を学んでいきました。

【PTA会長 角村 香織さん】この度は、地域の方の大きなご支援があり、学校と連携し、合同の研修会を執り行えたこと、本当に感謝申し上げます。子どもたちの心情をそれぞれの立場から学び、深く考えてくださっている事を実感できる会でした。PTAとしても、子どもを真ん中に置いた環境づくりを、より一層、進めていきたいと思う研修会でした。ありがとうございました。

【参加者の感想紹介（一部）】

- 不登校の子どもたちへの支援について、夏休み明けからの子どもへ向かう姿勢を改めて考え直すことができました。「できることに目を向けて」、伸ばしていけるような支援をしたいです。
- 教員としてまた母親として、ハッとさせられることばかりでした。教員の立場として、少しでも子ども自身、保護者の方のお力になれるように色々な知識を身につけていこうと思います。
- お話を聞く中で、「気づかないうちに自分の中で不登校についての先入観をもってしまっているな」と感じました。本日のお話を聞いて、「見守ること・踏み込むこと」、また正しい知識をもつことが大切だなと感じました。
- 大変勉強になりました。孫への理解が深まり、孫の成長をしっかりサポートしたいと強く思いました。
- グループトークの中で、「あの子どもこの子ども地域の宝」という言葉が印象に残っています。波多江の大切な子どもたちをたくさんの大人で支え合いながら育てていくことも大切なことだと改めて思いました。



夏休みの地域参加貢献

夏休み中の7月に波多江の各行政区では、夏祭りが行われ、どの行政区でも元気に楽しく夏祭りが実施されました。

特に高田東西行政区と池田南北行政区では、地域の神社で「浦安の舞」が奉納され、小学生の子どもたちが練習から本番と、地域貢献する姿が見られました。「浦安の舞」には、全国津々浦々平和でありますように、世界平和が一日も早く実現できますよという意味が込められているそうです。学校の充実期においても子どもたちの地域貢献の姿が見られることを期待しています。



広報「itoshima」にも載りましたが

広報itoshimaにも掲載していましたが、8月2日～5日福井県で行われた第39回全日本小学生男子ソフトボール大会で、糸島エンジェルスが糸島市ソフトボールチームとしてベスト16の結果を残すことができました。出場した波多江小の子どもたちに全国大会の感想を聞きました。「2回戦の相手は、シード校だったけど、そこに勝ってベスト16になることができました。打撃をつなげて、かたい守備で、守って勝つことができました。福井名物ソースカツどんも食べることができました。これからはリーグ戦があるから、一人ひとりができることをがんばって、チームメイトと協力しながら勝っていくことが抱負です。」と、こたえてくれました。

【糸島エンジェルス代表 中原 等 さん】

子どもたちのがんばりが糸島の少年ソフトボールの活性化につながっています！いまのメンバーだれか一人欠けても全国はありませんでした。本当によくがんばってくれました！！

子どもの写真は掲載しません

学校クリーン
協力隊
ありがとう！